

千葉市図書館に関する市民意識調査

概要版



● 調査の概要

調査目的：市図書館の施策等に対する市民意識を把握し、平成31年度に策定する「新たな図書館計画」を検討するための基礎資料とすることを目的に実施する。

調査対象：市内在住の満15歳以上の男女個人

対象者数：3,000人

抽出方法：住民基本台帳に基づく無作為抽出法

調査方法：郵送配布・郵送回収またはWeb回収

調査期間：平成30年12月6日（木）～12月21日（金）

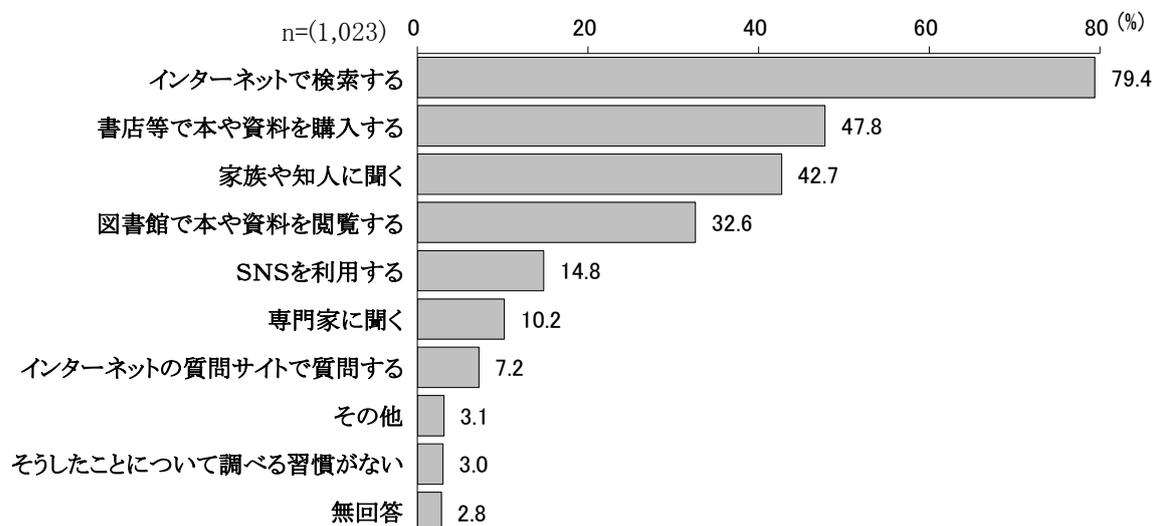
回収結果：有効回収数：1,023人（郵送：890人・Web：133人）／有効回収率：34.1%

1

情報収集の手段

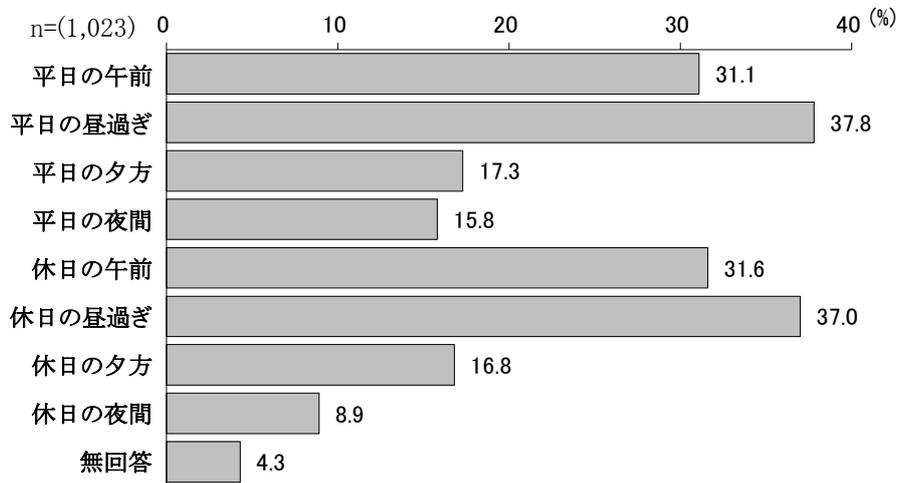
● 情報収集の手段 ～最も高い情報収集手段は「インターネットで検索する」～

情報収集を行う際の手段をきいたところ、「インターネットで検索する」が79.4%で最も高く、以下「書店等で本や資料を購入する」（47.8%）、「家族や知人に聞く」（42.7%）と続きます。



● 利用したい時間帯 ～「平日の昼過ぎ」「休日の昼過ぎ」の利用希望が多い～

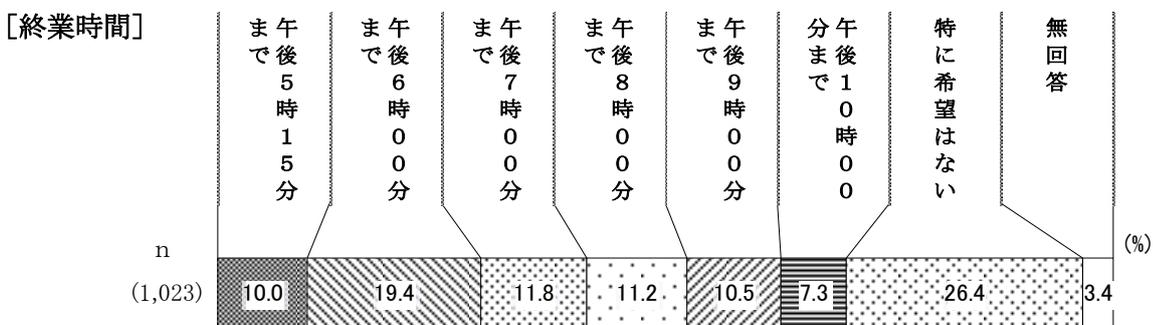
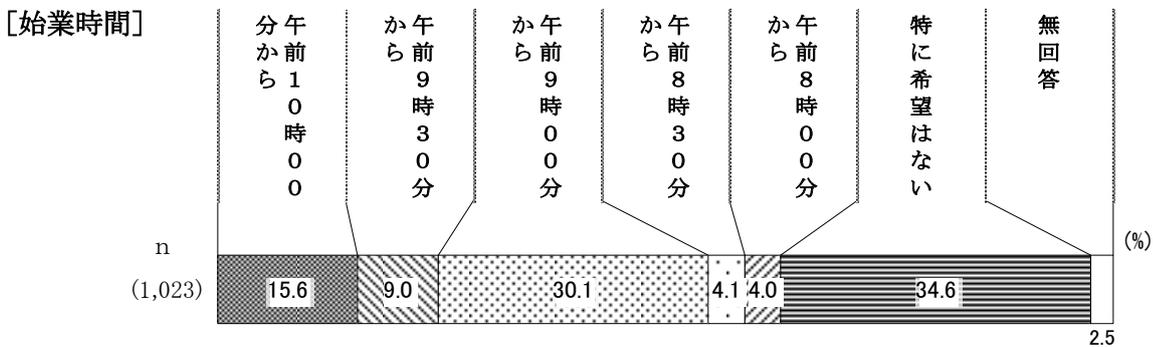
「平日の昼過ぎ」が37.8%、「休日の昼過ぎ」が37.0%と高くなっており、それらに続く「休日の午前」(31.6%)、「平日の午前」(31.1%)までが3割台となっています。



● 希望する始業・終業時間

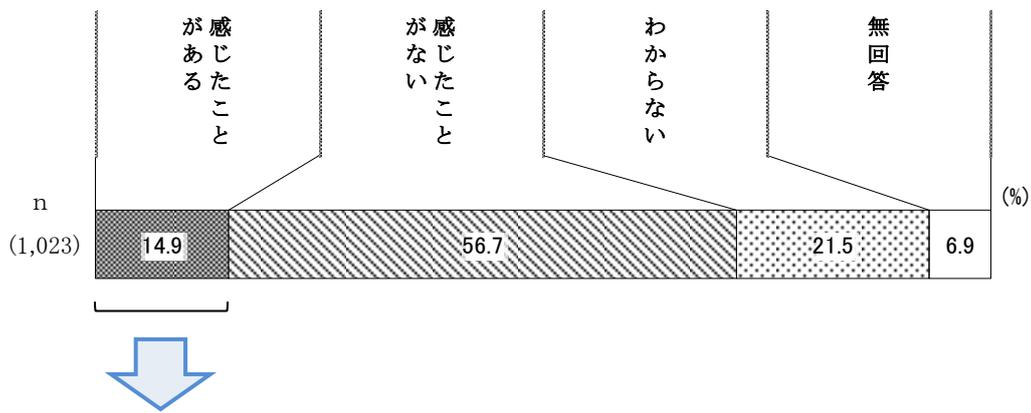
～希望する始業時間は「午前9時00分から」、終業時間は分散傾向～

始業時間は「午前9時00分から」が30.1%で、終業時間は「午後6時00分まで」が19.4%で高くなっています。



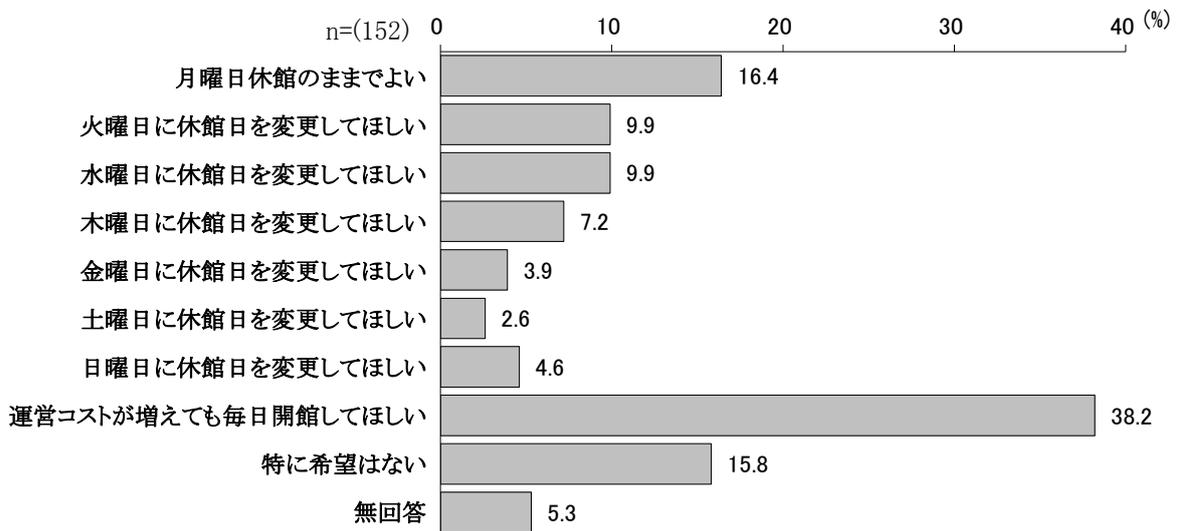
● 月曜休館を不便と感じるか ～過半数が月曜日休館を不便に感じたことがない～

「感じたことがない」が56.7%となっています。



● 休館日をどのように対応してほしいか

月曜休館に不便さを感じたことがある人の希望対応としては、「運営コストが増えても毎日開館してほしい」が38.2%で最も高くなっています。



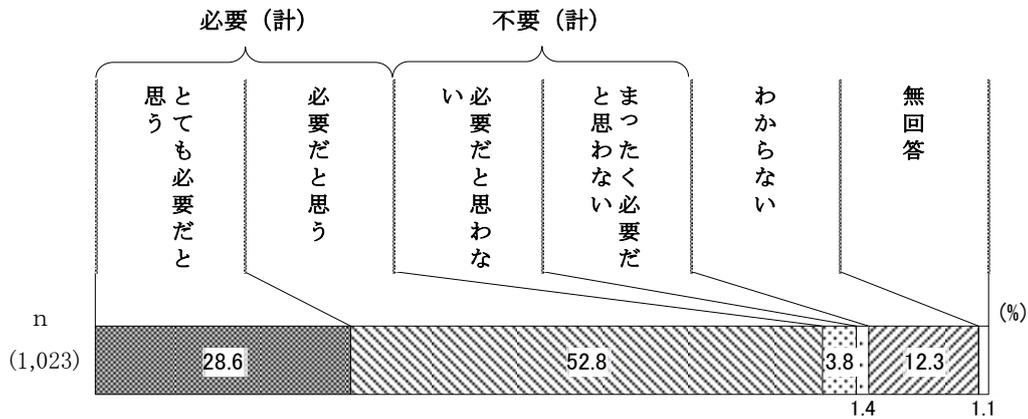
3

地域情報に関する意識

● 地域情報の収集・保存を強化する必要があるか

～地域情報の収集・保存強化は必要～

「必要だと思う」が52.8%と半数を超えており、「とても必要だと思う」(28.6%)を合わせた《必要》は81.4%となっています。



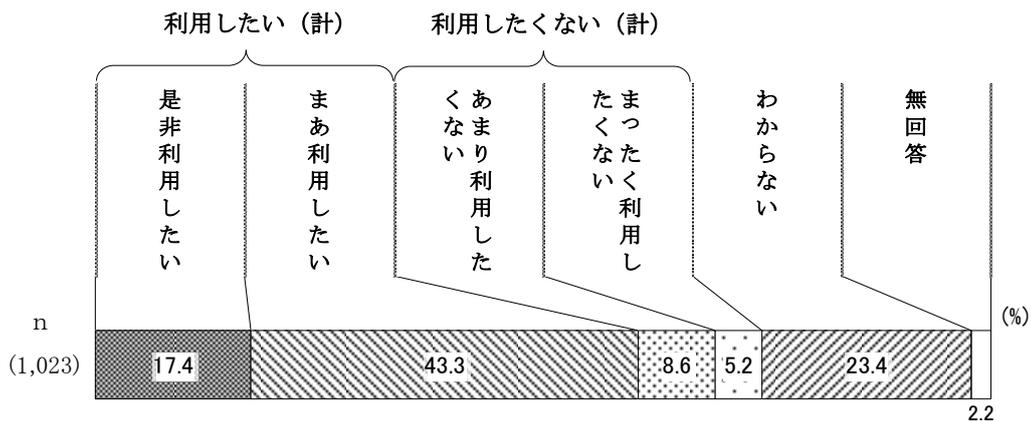
4

千葉市各種情報のインターネット配信の利用意向

● 千葉市に関する各種情報をインターネットで配信するサービスを利用したいか

～約6割がインターネット配信を利用したい～

「まあ利用したい」が43.3%で最も高く、「是非利用したい」(17.4%)と合わせた《利用したい》は60.7%となっています。



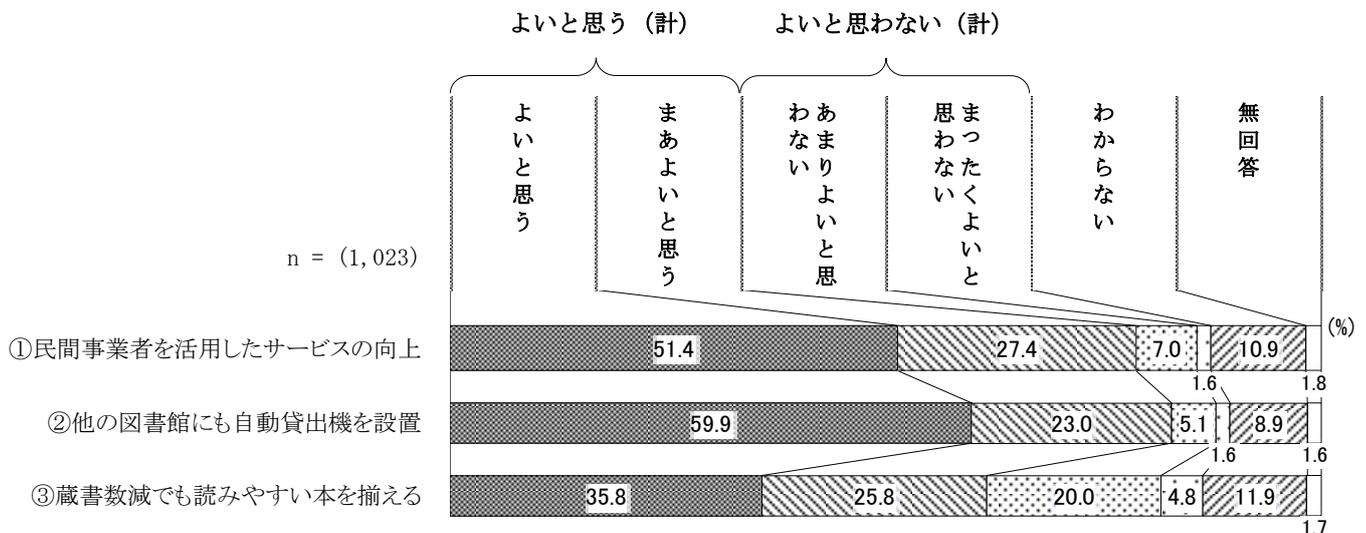
- 民間事業者を活用したサービスの向上、自動貸出機の設置、蔵書数減でも読みやすい本を揃える、ことについて

～民間事業者を活用したサービスの向上のニーズは約 8 割～

～自動貸出機設置のニーズは 8 割越～

～蔵書数量よりも読みやすい本を揃えることが重要～

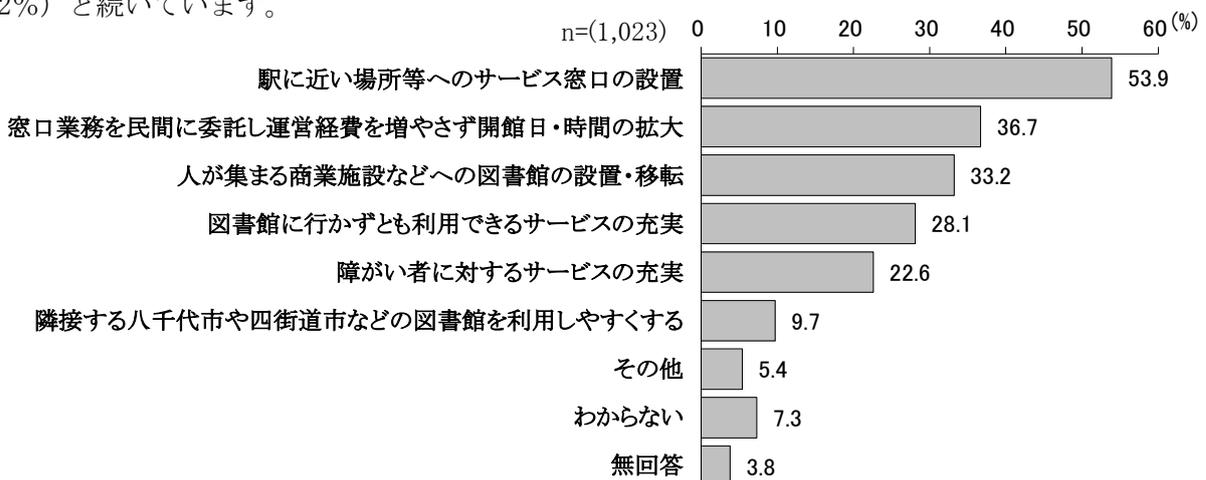
「よいと思う」と「まあよいと思う」を合わせた肯定評価《よいと思う》は、“民間事業者を活用したサービスの向上” 78.8%、“他の図書館にも自動貸出機を設置” 82.9%、“蔵書数減でも読みやすい本を揃える” 61.6%となっています。



- 利便性の向上に向けて大事だと思うこと

～駅に近い場所等への窓口の設置等、利便性の向上が求められている～

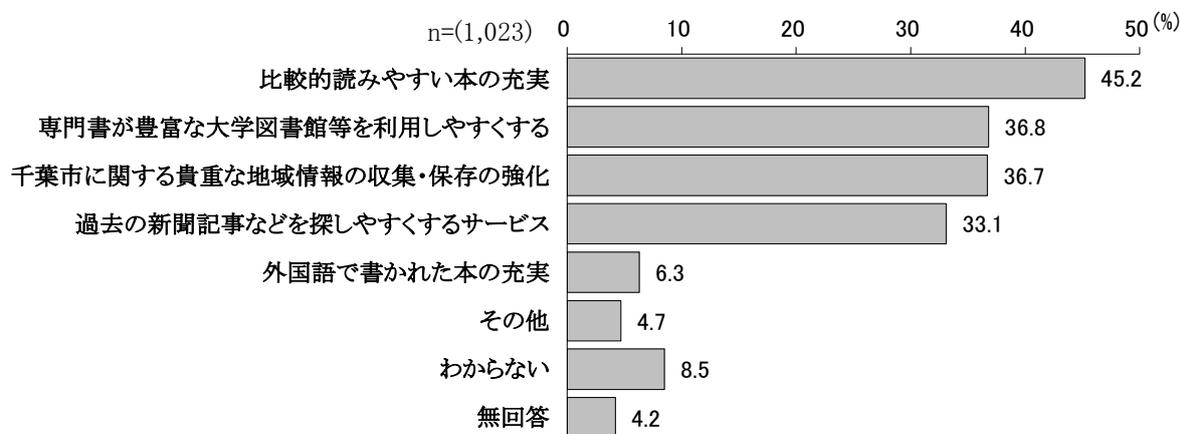
「駅に近い場所等へのサービス窓口の設置」が53.9%で最も高く、以下「窓口業務を民間に委託し運営経費を増やさず開館日・時間の拡大」(36.7%)、「人が集まる商業施設などへの図書館の設置・移転」(33.2%)と続いています。



● 資料の充実に関して大事だと思うこと

～読みやすい本も専門書も利用できるように～

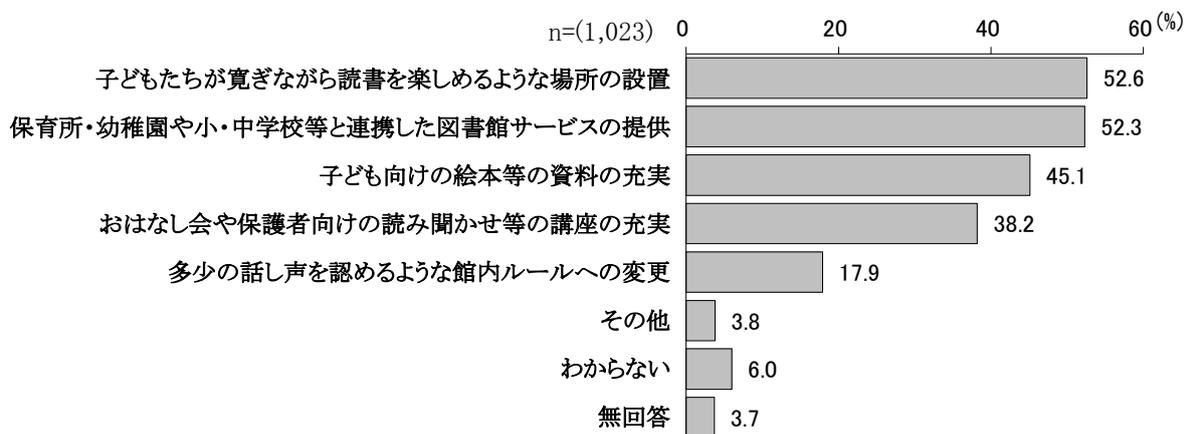
「比較的読みやすい本の充実」が45.2%で最も高く、以下「専門書が豊富な大学図書館等を利用しやすくする」(36.8%)、「千葉市に関する貴重な地域情報の収集・保存の強化」(36.7%)、「過去の新聞記事などを探しやすくするサービス」(33.1%)が3割台で続いています。



● 読書好きな子どもたちを育む上での図書館の役割

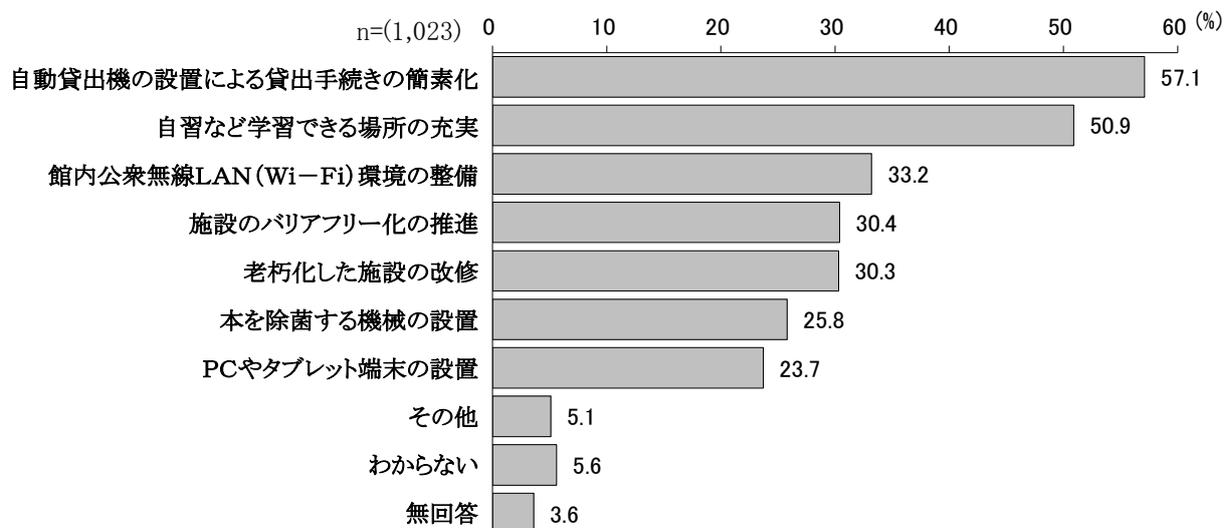
～子どもが読書に親しめる空間、仕組みづくりが必要～

「子どもたちが寛ぎながら読書を楽しめるような場所の設置」が52.6%、「保育所・幼稚園や小・中学校等と連携した図書館サービスの提供」が52.3%と拮抗しており、それらに続くのが「子ども向けの絵本等の資料の充実」(45.1%)、「おはなし会や保護者向けの読み聞かせ等の講座の充実」(38.2%)となっています。



● 施設設備の充実に関して大事だと思うこと ～自動貸出機の設置のニーズが高い～

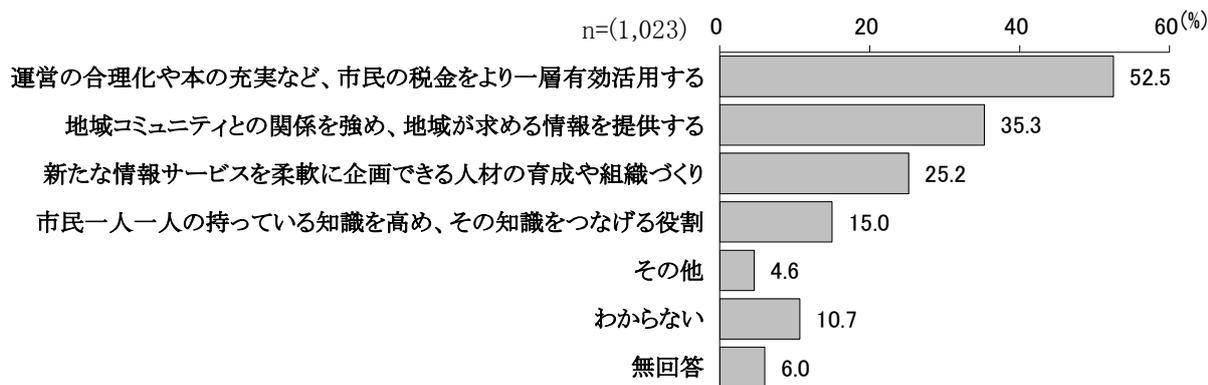
自動貸出機の設置による貸出手続きの簡素化」が57.1%で最も高く、次いで「自習など学習できる場所の充実」(50.9%)となっています。



● 市民に役立つ施設となる上で大事だと思うこと

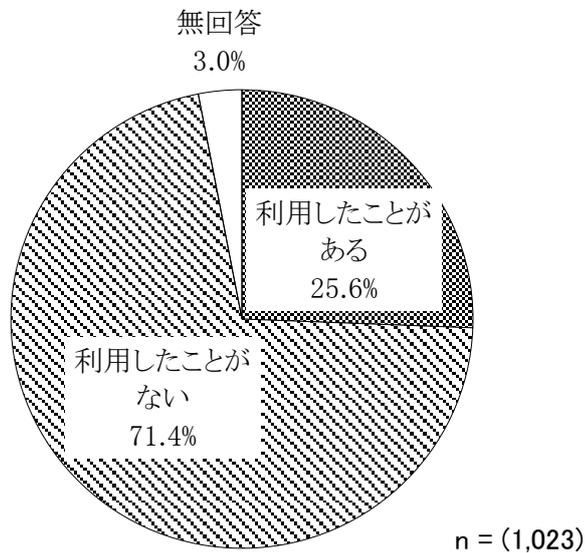
～運営の合理化や本の充実が求められている～

「運営の合理化や本の充実など、市民の税金をより一層有効活用する」(52.5%)が最も高く、以下「地域コミュニティとの関係を強め、地域が求める情報を提供する」(35.3%)、「新たな情報サービスを柔軟に企画できる人材の育成や組織づくり」(25.2%)と続いています。



● 電子書籍の利用経験 ～電子書籍利用経験者は2割半ば～

電子書籍の利用を、「利用したことがある」が25.6%、「利用したことがない」が71.4%となっています。



千葉市図書館に関する市民意識調査 ～概要版～

平成31年 月

発行：千葉市教育委員会事務局 生涯学習部
中央図書館管理課企画運営班
千葉市中央区弁天三丁目7番7号
電話 043-287-4081

実施：(株)サーベイリサーチセンター
荒川区西日暮里二丁目40番10号
電話 03-3802-6711 (代表)